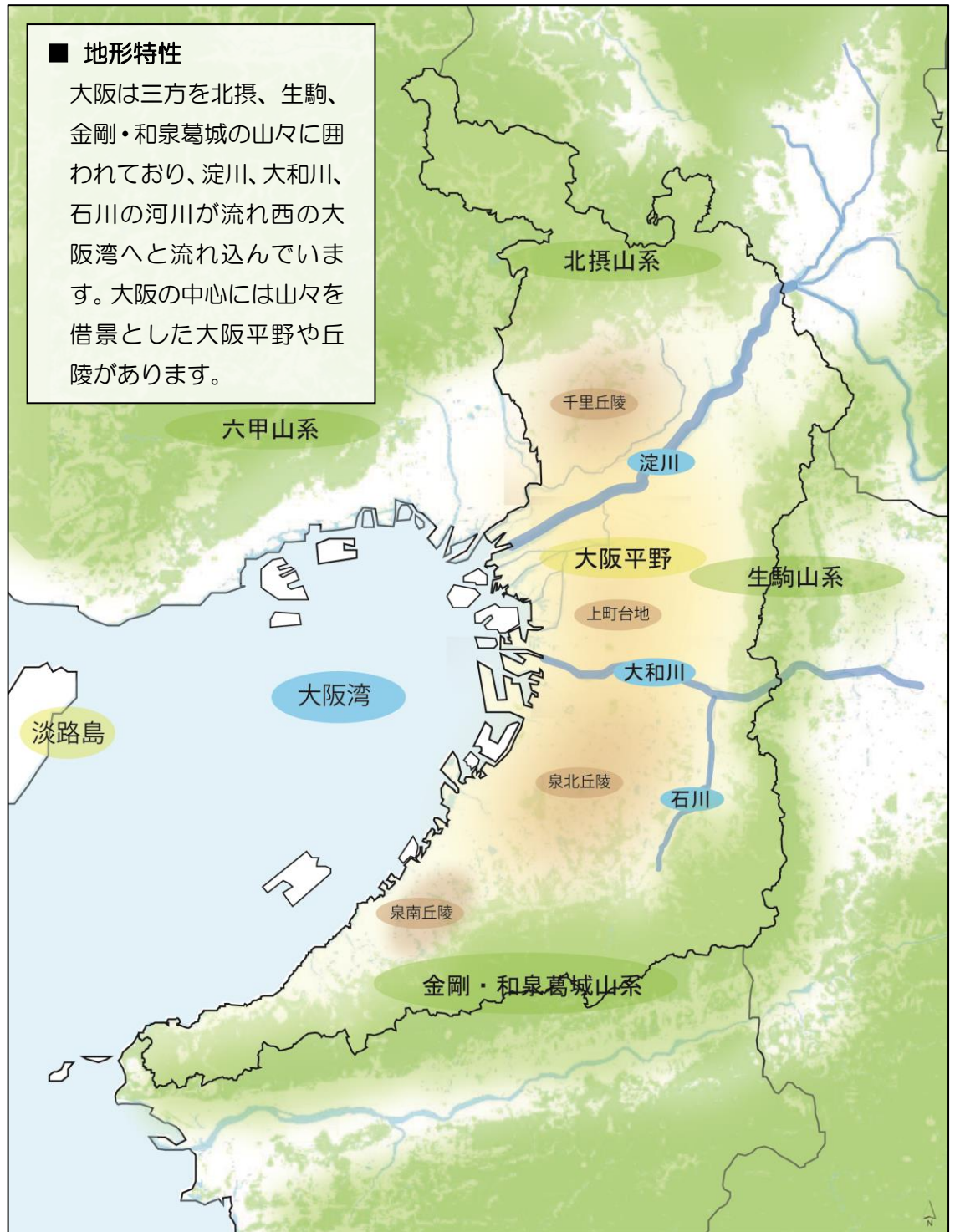


Ⅱ 大阪の景観特性 ～地形特性～



■ 地形特性

大阪は三方を北摂、生駒、金剛・和泉葛城の山々に囲われており、淀川、大和川、石川の河川が流れ西の大阪湾へと流れ込んでいます。大阪の中心には山々を借景とした大阪平野や丘陵があります。



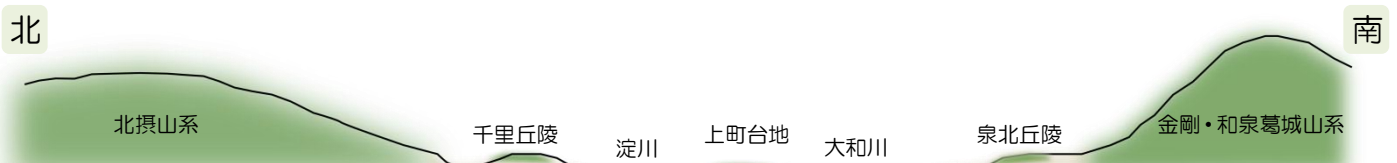
■ 東西断面のイメージ

大阪湾から生駒山系に掛けて大阪平野が広がっています。東部に位置する生駒山系は勾配が急であるため平野部から視認しやすくなっています。



■ 南北断面のイメージ

北部に位置する北摂山系は扇状地から山麓部にかけて奥行きのある空間となっています。南部に位置する金剛・和泉葛城山系は、山麓部や丘陵、山間部の集落が一体となった空間が広がります。



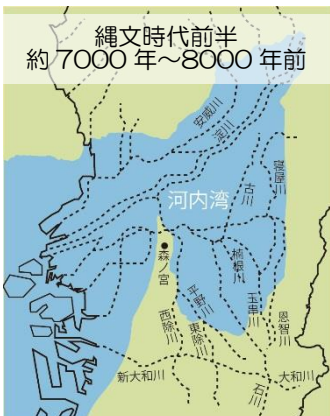
Ⅱ 大阪の景観特性 ～歴史特性～

■ 歴史特性

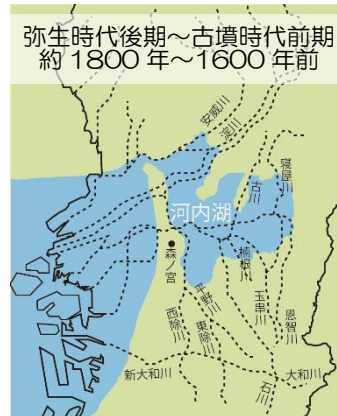
歴史的街道が張り巡らされており、寺内町等の多くの歴史・文化遺産があります。また、巨大な古墳群、城郭、近代建築物群など古代から現在に至るまでの歴史的資源に恵まれています。



■ 大阪の地形の成り立ち



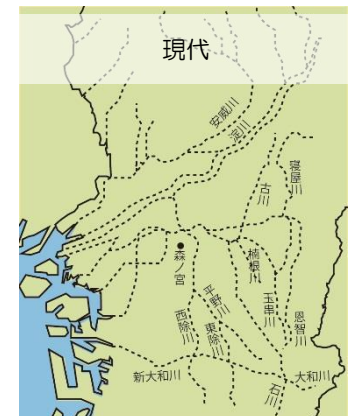
上町台地が半島のように突き出し、その東に河内湾と呼ばれる内海が広がっていました。



天満長柄の砂州が北へ伸びきって河内平野への海水の流入をさえぎり、河内湖となりました。



江戸時代以降、大阪湾は埋め立てがなされ、市街地が大阪湾の方へ広がりました。



昭和以降の戦後復興や高度経済成長期に更に埋め立てがなされ現在の海岸線に至ります。

Ⅱ 大阪の景観特性 ～都市・インフラ特性～



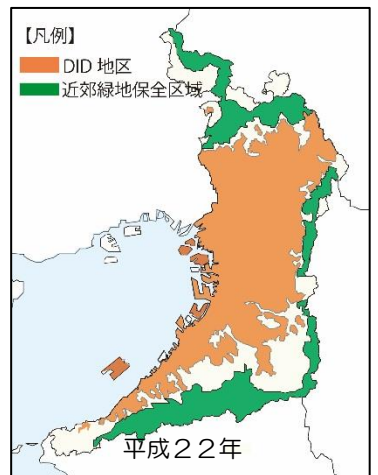
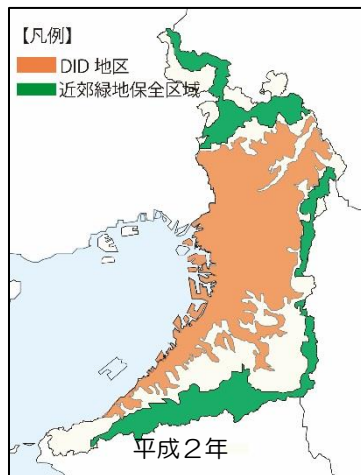
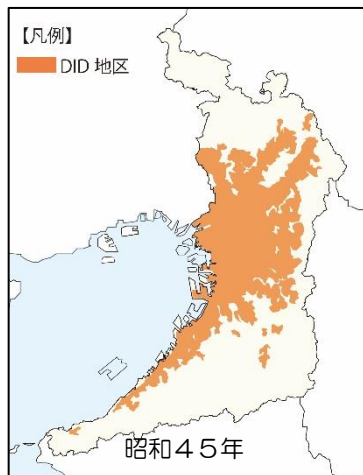
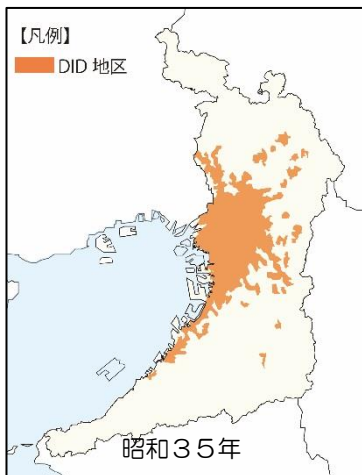
■ 都市・インフラ特性

商業業務等の機能が集積する都心を中心に、京都、神戸、奈良、和歌山等に向け放射状に都市軸（道路等）が広がっており、これらをつなぐ環状の都市軸が発達しています。公園等の水・緑の拠点では人々に潤いとやすらぎを与え、関西国際空港等の交通の拠点を中心として都市が形成されています。



■ 市街地の広がり（DID地区の変遷）

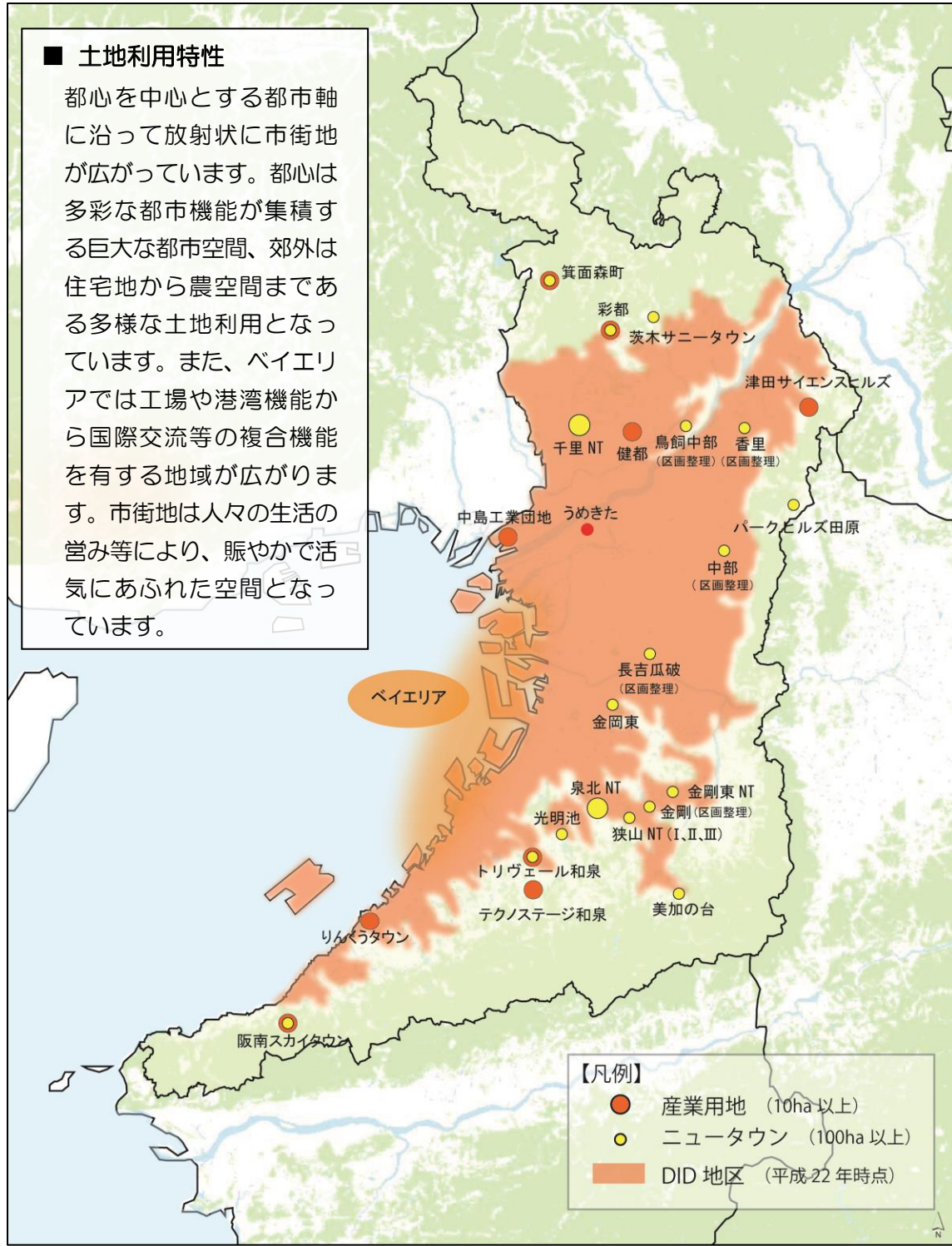
※国土数値情報を基に作成



II 大阪の景観特性 ~土地利用特性~

■ 土地利用特性

都心を中心とする都市軸に沿って放射状に市街地が広がっています。都心は多彩な都市機能が集積する巨大な都市空間、郊外は住宅地から農空間まである多様な土地利用となっています。また、バイエリアでは工場や港湾機能から国際交流等の複合機能を有する地域が広がります。市街地は人々の生活の営み等により、賑やかで活気にあふれた空間となっています。



■ 人々の生活景

